



青少年交換 ハンドブック

Rotary 

ロータリー青少年交換



ロータリー青少年交換

青少年交換

本手引きは、主にロータリーの青少年交換プログラムに参加する地区レベルのリーダーの参照用です。また、地区の青少年交換プログラムに参加するクラブのリーダーにも参考となります。本冊子に記載された情報にはロータリー地区で実践されているベストプラクティスが反映されており、言及されている方針はすべてロータリー章典に記載されています。国際ロータリー理事会による決定が、本冊子に記載された情報に優先します。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために、安全な環境をつくり、維持するために努力しています。ロータリアン、ロータリアンの配偶者、その他のボランティアは、最善を尽くして、接する児童や青少年の安全を守り、肉体的、性的、精神的虐待から彼らを保護しなければなりません。

ご質問やご感想はyouthexchange@rotary.orgまでお寄せください。

目次

1

青少年交換とは

4ページ

2

国際ロータリーの役割

6ページ

3

青少年交換プログラムを
成功に導く

10ページ

4

青少年交換学生の
派遣に関する指針

18ページ

5

青少年交換学生の
受け入れに関する指針

28ページ

6

学友との絆を保つ

37ページ

7

青少年交換のリソース

39ページ

I

青少年交換とは

ロータリークラブは、クラブ活動の礎である5つの奉仕部門において、国内外で奉仕活動を実施します。奉仕部門の一つである「青少年奉仕」は、指導者育成プログラムを通じた青少年のエンパワメントを重視しています。ロータリー青少年交換は、ロータリーが提供する数多くの青少年指導者育成プログラムの一つです。

海外で生活することは、国際理解と平和を推進する素晴らしい方法です。青少年交換を通じて、学生は新しい言語を学び、異なる文化と慣習を知り、生涯にわたる友情を育みます。

ロータリー青少年交換プログラムの目的は以下の通りです。

- 国際理解と親善の心を育む
- 青少年のエンパワメントを通じて好ましい変化を生み出す
- プログラムに参加する受入クラブ、ホストファミリー、地域社会、学生の間に関係を築く

ロータリー地区は、ロータリークラブと協力して青少年交換プログラムを運営します。地区とは、その地域のロータリークラブのグループであり、世界に約530の地区があります。他団体が運営する交換留学プログラムと異なり、ロータリー青少年交換はボランティアであるロータリアンが管理しています。このため、管理運営費が比較的低いだけでなく、熱心なロータリアンによる支援ネットワークが確立されています。また、青少年の安全が常に最優先されるよう、ロータリーの青少年保護方針や青少年交換の地区認定プログラムが定められています。

交換の種類

地区は、長期交換、短期交換、またはその両方など、交換の期間を選べます。通常、15歳～19歳の学生が対象ですが、具体的な年齢設定は地区が決定します。青少年交換プログラムは柔軟性が高いので、生徒の幅広いニーズに応えられます。

長期交換は通常1学年にわたり、学生は複数のホストファミリーのもとで暮らし、学校に通う必要があります。

短期交換は数日～数カ月にわたり、多くの場合、学校の休暇中に実施されます（期間と時期は地区により異なります）。参加者は通常、ホストファミリーに滞在しますが、ユースキャンプに参加したり、他国から来た学生と一緒にその国を旅行したりすることもあります。

どちらの交換を行う場合も、地区が認定条件を満たしていなければなりません。本冊子の情報の大半は、長期交換プログラムに該当するものです。

2

国際ロータリーの役割

地区認定プログラム

青少年交換役員大会前会議

青少年交換委員会

国際ロータリーは、ロータリー青少年交換に参加する地区に以下の支援を提供します。

- 地区認定プログラムの実施（詳細は後述を参照）
- ロータリー方針が守られるようにガイダンスを提供
- 海外パートナーとの連絡を援助し、ロータリアンや一般の人びとからの問い合わせに対応
- 青少年交換役員名簿、青少年交換ニュースレター、ロータリー・ブランドリソースセンターやロータリーショップで入手できる推進資料（ロータリーのブランドガイドラインに沿ったデザイン）など、青少年交換プログラムのための連絡、コミュニケーション、推進用リソースを作成

本章では、青少年交換プログラムにおける国際ロータリー事務局の役割を説明します。

地区認定プログラム

以下の条件を満たし、国際ロータリーによる公式認定を保持している地区のみが青少年交換に参加できます。

認定の最低要件

これらの要件は、ロータリー章典の青少年交換に関する節に特記されていない限り、短期交換と長期交換の両方に適用されます。

法人化と損害賠償

- 地区の青少年交換プログラムを取り扱う法人、または同様の合法的な組織を設立する。
- 地区が地元で必要とされる補償範囲と上限を満たす損害賠償保険に加入する。
- どの受入学生も、ロータリーが定めた最低条件を満たす旅行保険にかならず加入する（第4章参照）。保険や関連費は、学生の親または法的保護者が支払う責任を有する。

青少年の保護と安全

- 国際ロータリーの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を採用する。
- 申し立ての報告に関する指針など、地区の青少年保護方針を作成し、実施する。ロータリー 青少年保護の手引きに記載された青少年保護の条件や、地区の青少年保護方針の見本を参照のこと。

- すべてのロータリアンとほかのボランティアに、申請書、犯罪歴調査、身元調査、個人面接などの徹底した審査を行う。ホストファミリーもこれらの条件を満たさなければならず、事前通知を受けた上で青少年交換役員による家庭訪問と抜き打ち（または直前通知）の家庭訪問を受け入れなければならない。
- 申請した学生について、申請書や個人面接などの徹底した審査を行う。少なくとも1名の親または法的保護者が面接に同席しなければならない。
- プログラムの規則と虐待防止・認識向上のための研修を盛り込んだオリエンテーション（出席必須）を実施する。出発前に派遣学生とその親または法的保護者向けに1回、到着時に来訪学生向けに1回行うこと。
- 交換中に学生の支援をするクラブ、地区のそれぞれの担当者の連絡先を学生に教える。救急サービスや地元病院の情報、さらに24時間対応の地区の緊急連絡先も教える。
- ホストファミリーに対して申し立てがあった場合に備え、審査済みホストファミリーの元に一時的に学生を移す手順を決めておく。
- 深刻な虐待やハラスメントの事件や申し立てはすべて、72時間以内に青少年交換担当職員に報告する。

順守と報告

- 地区内の全参加クラブとボランティアが必ず国際ロータリーの認定要件を遵守するためのプロセスを確立する。
- 学生、ボランティア、ホストファミリーの申請書と、学生の事件の記録やロータリー青少年プログラムへの参加を禁じられた人の記録など、青少年交換に関連した書類を保管する方針を守る。
- 学生が留学する海外の地区が、青少年交換プログラムへの参加を国際ロータリーによって認定されていることを確認する。

プログラムの実施と研修

- 全ロータリアンとほかのボランティアに対して研修を実施する。
- 交換学生を支援するロータリアン・カウンセラーを選ぶ（第3章を参照）。ロータリアン・カウンセラーは、性的虐待とハラスメントの問題への対処法について特別な研修を受ける必要があり、学生のホストファミリーの一員であってはならない。
- 長期交換の全ホストファミリーが無償であり、長期交換では学生が2世帯以上のホストファミリーに滞在するようにする。

地区は最低限の認定要件を満たしている証拠をRIに提出しなければなりません。RI職員がこの書類を審査し、認定の結果について地区リーダーに連絡します。認定の結果がその通知により確認されるまで、地区はいかなる交換も計画、手配することはできません。認定手続きを開始し、認定書式を入手するには、youthexchange@rotary.orgにご連絡ください。

認定の更新

地区はプログラムへの参加条件を満たしていることをRIに証明するために、毎年認定を更新しなければなりません。次期地区ガバナーと次期地区青少年交換委員長が、5月にロータリーから送付される認定更新書式に署名して返送する必要があります。

再認定

ロータリーは5年～7年ごとに、地区が認定条件を順守しているかどうかを確認するための綿密な審査を行います。再認定には、法人化の証拠書類、損害賠償保険の証拠書類、地区の青少年保護方針をロータリーに提出する必要があります。

地区認定の特例

派遣のみの認定

派遣のみ(一方向のみ)の認定では、地区は学生を派遣できますが、受け入れることはできません。派遣のみの認定プロセスは従来よりもシンプルになります。

多国籍地区認定

多国籍地区と呼ばれる、複数の国にまたがる地区は、青少年交換プログラムに参加する予定の各国がいずれも認定要件を満たしていることを確認しなければなりません。多国籍地区は、地区内一部の国か、または地区全体で認定を申請できます。

認定手続きの詳細、または手続きを開始するには、youthexchange@rotary.orgにご連絡ください。

認定されていない地区の参加は 禁じられています。

ロータリー青少年交換プログラムには、認定された地区のみが参加できます。認定されていない地区との交換を計画したり手配したりすることは禁じられており、違反した場合は、認定の取り消しや、今後の青少年交換活動への参加の停止につながる可能性があります。

青少年交換役員大会前会議

青少年交換役員大会前会議は、年次ロータリー国際大会の直前に開催されます。世界中の青少年交換リーダーとともに、アイデアを交換し、交換プログラムを向上させる方法を学び、クラブ、地区、多地区レベルの世界中の青少年交換役員と長期的な関係を築くことができます。青少年交換役員大会前会議には、青少年交換学生を含むすべての大会出席者が参加できますが、その内容は青少年交換役員向けとなっています。次回の青少年交換役員大会前会議に出席する計画をさっそく立てましょう。[詳しくはこちら](#)

青少年交換委員会

プログラムについて国際ロータリーの理事会に助言したり、青少年交換役員大会前会議の内容の計画したりする青少年交換委員会が、RI会長により任命されることがあります。ロータリアンは、この委員会の委員に連絡して助言を求めたり、意見を伝えたりすることができます。委員会の連絡先はyouthexchange@rotary.orgにお尋ねください。

3

青少年交換プログラムを 成功に導く

リーダーの役割と責務

地区

ロータリークラブ

多地区合同青少年交換 グループ

リーダーの組織図

青少年交換プログラムは、地区により実施され、地元のロータリアンがすべてを手配します。リーダーの明確な役割、しっかりと構成された委員会、十分に研修を受けた適格な地区・クラブリーダーがそろっていれば、何年にもわたってプログラムの成功が保証されるでしょう。

リーダーの役割と責務

効果的な青少年交換プログラムは、リーダーの役割を担う熱意あるロータリアンにかかっています。その役割は地区やクラブにより異なりますが、すべてのリーダーが学生の派遣と受入に関して地区とクラブの責務の分担をはっきりと理解していなくてはなりません。クラブの委員会構成を地区の委員会と同様にすることで、コミュニケーションと管理運営がしやすくなります。成功に必要な共通の責務は以下の通りです。

地区

国際ロータリーの地区認定プロセスを通じて、地区はクラブが青少年交換プログラムに参加できるように管理運営の方針と手順を定め、実施します。

地区ガバナー

地区ガバナーは、すべての青少年交換活動を含む地区プログラムの監督と管理の責任を負います。このため、プログラム指針を熟知し、認定要件が順守されているかどうかを確認する必要があります。ガバナーは地区の任命に関して権限を持ちます。

責務

- 地区青少年交換委員長と委員を任命する。
- 適切な活動が行われるように、クラブと地区の青少年交換プログラムを支援し、監督する。
- 生じたあらゆる問題に対応し、必要であればクラブや地区委員長の代わりに他地区のガバナーに連絡する。
- 責務が地区やクラブのほかの役員に委任されていても、必要であれば介入してプログラムを直接管理する。

青少年保護役員

RIはすべての青少年プログラムで安全な環境を築くために、地区が青少年保護役員を任命することを推奨しています。地区青少年保護役員は、虐待やハラスメントの問題に対処する専門的な経験を有し、RI方針を把握していて、地元や国内の関連法に熟知していなければなりません。国際ロータリーの青少年保護方針について、詳しくは**ロータリー青少年保護の手引き**をご覧ください。

責務

- あらゆる申し立てとロータリーの青少年プログラムへの参加を禁じられた人の記録を保持する。
- 関係者全員を守り、申し立てが地元の法律と地区の方針に従って適切に対処されるようにする。
- 地区・クラブと協力して、地区の方針と地元の法律による義務事項をすべてのロータリアンに伝える。
- 法律に従って、申請書、犯罪歴調査、身元調査を含め、全審査を受けたボランティアの記録を審査し、保管する。または、この目的のために雇われた外部業者への連絡窓口となる。
- 青少年保護に関連した教育・研修プログラムについて地区青少年プログラム委員会に助言する。

地区青少年保護役員が任命されていない場合、青少年交換委員1名が、青少年保護の方針と手続きを守る役を担うべきです。

地区青少年交換委員長と委員会

地区青少年交換委員長は、地区内の青少年交換活動を管理し、国際ロータリー、地区ガバナー、ならびにクラブと連絡を取り合います。地区ガバナーと相談の上、地区委員長はしばしば地区委員会を任命し、各委員それぞれの責務を決定します。

プログラムの指針を決める

RI方針に沿って、学生のための地区の指針と規則を定めます（以下を含む）：

- 期待される行動
- 問題対処のためのプロトコル
- 学生の旅行許可申請の承認手続き

青少年保護

青少年保護役員と相談の上、**ロータリー青少年保護の手引き**に従って、青少年交換における青少年保護対策を立てます。

- 委員、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラー（ただしこれらに限らない）を含む成人のボランティア全員を審査する。これには、青少年と活動するボランティアとしての適性を判断するための面接や、ボランティアが申請書へ記入したことの確認、警察の犯罪歴記録の確認や照会を含む経歴照会を行うことも含む。
- ホストファミリー、学生、成人のボランティアに青少年保護方針の研修を行う。

効果的な任命と引継ぎ計画

ガバナーは、継続性を維持するために、青少年交換委員会の委員を一度に33パーセント以上を交代させないことが奨励されています。また、プログラムについて理解してもらうために、ガバナーエレクトあるいはガバナーノミニーを青少年交換委員に含めることが奨励されています。

RI理事会は、委員長の任期を3年に限定することを奨励しています。ただし、青少年交換プログラムには特別な専門知識や経験が必要とされるため、後任者に十分な研修を行うのに必要な場合、任期が延長されることがあります。次期委員長にも委員会会合に出席してもらったり、メンタリングを行うなどすれば、うまく引き継ぐことができるでしょう。

青少年交換の財務

ガバナーと地区財務委員会は、青少年交換の資金を監督しなければなりません。青少年交換の資金はその他の地区資金とは別に管理し、青少年交換の活動のみに使用します。資金の出し入れに必要な署名人には、青少年交換委員長、地区財務委員会委員、または指定された代理人などが含まれます。資金を区別するために、青少年交換用の別個の銀行口座を開設するか、主要銀行口座に独立記載したり、別名称にする地区もあります。

受入地区・クラブは、派遣地区と受入地区が決定する月額の小遣いを学生に提供します。小遣いはホストファミリーの家庭外で食事をとった場合の食費や、公共交通機関を利用した際の交通費に充てます。地区青少年交換委員会は、年間予算をガバナーと地区財務委員会による承認のために提出する必要があります。また、地区青少年交換委員会と地区会計は、ガバナーに提出する半期財務報告を作成しなければなりません。

- 性的虐待あるいはハラスメント（嫌がらせ）を自ら認めた、または有罪を宣告された、あるいはそれに関与したと認められたボランティアを青少年活動に参加させないようにする。
- 学生のための緊急連絡先を含むコミュニケーション計画を立てる。
- 虐待またはハラスメントの申し立てがあった場合に学生を支援するための手続きを、あらかじめ定めておく。これには、申し立てのあった加害者とロータリープログラムに参加する青少年との接触を断つこと、学生を臨時宿泊施設に移動させる際の手順を確立すること、学生の親または法的保護者が必ず知らされているようにすること、支援を提供することなどが含まれる。

リスク・危機管理

リスク管理方針と危機管理対策を実行します。

- 早期帰国、虐待またはハラスメントの申し立てなどを含む事件に対する報告手続きと対応策を定め、地区の申し立て報告の指針についてすべての成人のボランティアに説明する。
- プログラムの必須要件を満たさない学生、成人のボランティア、その他の参加者をプログラムから除外するための指針を設立する。
- 自然災害、健康問題、社会情勢または政情不安などの危機に対する緊急対応の手続きを備える。
- 緊急事態に備えて、事前に審査されたホストファミリーを見つけておく。
- 受入学生のために必要な保険と、地区プログラムのために必要な一般損害保険の水準を定める。受入地区とともに補償範囲と保険会社を取り決める。保険の加入手続きにおいて派遣学生を援助する。
- 学生の受入地域外への旅行については親または法的保護者による許可を義務づける方針を施行する。

報告

以下についてRIへ報告を行う人を1名（通常は地区委員長または青少年保護役員）任命します。

- 重大な事故、死亡、犯罪、虐待またはハラスメントの申し立てなど、学生にかかわるすべての深刻な事件。報告は72時間以内に行う。交換が終了する前に早期帰国する学生についても報告する。
- RIが実施する年次青少年交換調査（プログラム実施状況を報告）。

記録の保管

文書保管方針とセキュリティ対策を立てます。

- 記録を保管するのはクラブにするか、地区にするかを決定する。
- 地元の法律に沿った記録の保管期間を調べる。
- 研修記録、ボランティア審査記録、事件報告、ロータリー青少年プログラムへの参加を禁じられた人物に関する書類を保管する。
- 極秘情報へのセキュリティアクセスを設定する。

地区内のクラブを支援する

ロータリークラブと協力して以下を行います。

- 地区内クラブの青少年交換委員会に研修を実施する。
- 受入学生と派遣学生への期待事項を定める。
- クラブの青少年交換活動を強化するのに役立つ資料と情報を提供する。
- プログラムに学友を関与させ、学友のための活動を企画することをクラブに奨励する。

学生を海外に派遣するためのプログラムづくり

以下の活動を管理します。

- 学生の受け入れ先を手配するために、海外の認定地区と関係を築く。
- クラブが学生を見つけ、面接し、選考するのを助ける。
- 出発前に学生と保護者のためのオリエンテーションを実施する。
- 学生のための旅行やビザの手配をすべて整える（地区に代わってクラブまたは多地区合同グループが行う場合以外）。
- 旅程の情報をいつでも提供できるように、学生、保護者、旅行代理店の間の連絡役を務める。
- 海外に滞在中の学生から送られた報告書に目を通し、異常が報告された場合には措置を取る。
- 帰国した学生にロータリー学友会を紹介する。

学生を受け入れるためのプログラムづくり

以下の活動を管理します。

- 交換学生を受け入れるクラブを決める。
- クラブがホストファミリーの選考とオリエンテーションを行うのを助ける。
- 地区の受入ロータリークラブと学生の所属地区の間の連絡役を務める。
- 学生の渡航やビザの手配をすべて整える（地区に代わって多地区合同グループが行う場合以外）。
- 学生の到着後に、虐待・ハラスメントへの意識向上に関する研修を含むオリエンテーションを手配する。
- 問題が生じた場合には、学生、カウンセラー、クラブに指導と支援を行う。

ロータリークラブ

地元での手配を行い、学生の派遣と受け入れのための効果的な支援体制を築くには、ロータリークラブ、ロータリアンとその家族、地域社会の人の力が重要な役割を果たします。

参加は必須ではありませんが、すべてのクラブが青少年交換に参加するよう奨励されています。クラブ会員は、クラブ青少年交換委員会委員、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラーなどとして、青少年交換活動に参加することができます。

クラブ会長

クラブ会長は、青少年交換を経験したことのある会員をクラブ青少年交換委員長に任命します。また、委員の選考を監督し、青少年交換活動を援助します。

クラブ青少年交換委員長および委員会

クラブ青少年交換委員長は、長期と短期の交換学生の派遣と受け入れに関するすべての活動を計画、実施、支援します。

クラブ青少年交換委員会は、委員長の指示の下で援助を提供します。この委員会の規模と活動範囲は、クラブの規模や、クラブがどの程度プログラムにかかわっているかによって異なります。

参加クラブ

各参加クラブは、以下の責務を担います。

- 地区のプログラムと青少年交換活動との調整を図り、RI方針と地区方針が確実に順守されるようにする。
- 地区の青少年交換会合に出席する。
- クラブの例会や活動への参加について、学生に対する期待事項を定める。
- オリエンテーションや地区大会など、参加が義務づけられた行事に学生が必ず出席するようにする。
- プログラムについて学生の意見を聞く。
- 学生に関する問題や懸念について、地区青少年交換委員長に連絡する。

学生の派遣に伴う責務

- 地域社会の学生にプログラムを紹介し、申請書を配布し、参加候補者を見つける。
- 学生と面接し、選考する。
- 各学生にロータリアン・カウンセラーを指名する。
- 地区で派遣の調整を行う地区リーダーと連絡を取り合う。

学生の受入に伴う責務

- ホストファミリー候補の面接と審査を行う。
- ホストファミリーの選考とオリエンテーションの調整を行い、交換期間中を通じてホストファミリーと連絡を取り合う。
- 受入学生が到着する前に、関係を築き連絡を取り合う。
- 学生の到着、歓迎、オリエンテーションの手配を行う。
- ロータリークラブと学生が通う学校の連絡役を務める。
- 各学生にロータリアン・カウンセラーを指名する。
- 地区で受入学生の調整を担当する地区リーダーと連絡を取り合う。
- 毎月の小遣いを支給する。詳しくは、「青少年交換の財務」(12ページ)を参照のこと。

ロータリアン・カウンセラー

学生、ロータリークラブ、ホストファミリー、地域社会全体との連絡窓口となるロータリアン・カウンセラーは、青少年交換プログラムの成功において非常に重要な役割を果たします。ロータリアン・カウンセラーは、学生にとってロータリーの主要窓口となり、年度を通じて定期的に学生と直接連絡を取ることで、学生が留学国と地域社会に溶け込めるように支援します。各派遣学生と各受入学生にロータリアン・カウンセラーを指名する必要があります。派遣学生を担当するロータリアン・カウンセラーは、出発の準備を手伝い、帰国の支援を行います。以下に挙げた責務は、交換学生を受け入れるクラブのロータリアン・カウンセラーに関するものです。

受入側ロータリアン・カウンセラーの責務は以下の通りです。

- 学生の出発または到着前に関係を築き、クラブと地区の期待事項を説明し、定期的に連絡を取り、それを記録する(少なくとも月1回)。
- 授業の選択、友人づくり、課外活動への参加などについて、学生の相談にのる。
- 学生が文化や言語に慣れることができるよう、手助けをする。
- 地域社会や学校と協力し、学生が活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにする。
- 学生に虐待とハラスメントの防止について情報を提供し、学生がどのような心配事でも安心して話し合えるような協力的な環境をつくる。
- どのようなことに関しても学生の擁護者となる。
- (長期交換) 交換期間中にホストファミリーが変わっても、学生にとって変わらぬ支援者となる。

多地区合同青少年交換グループ

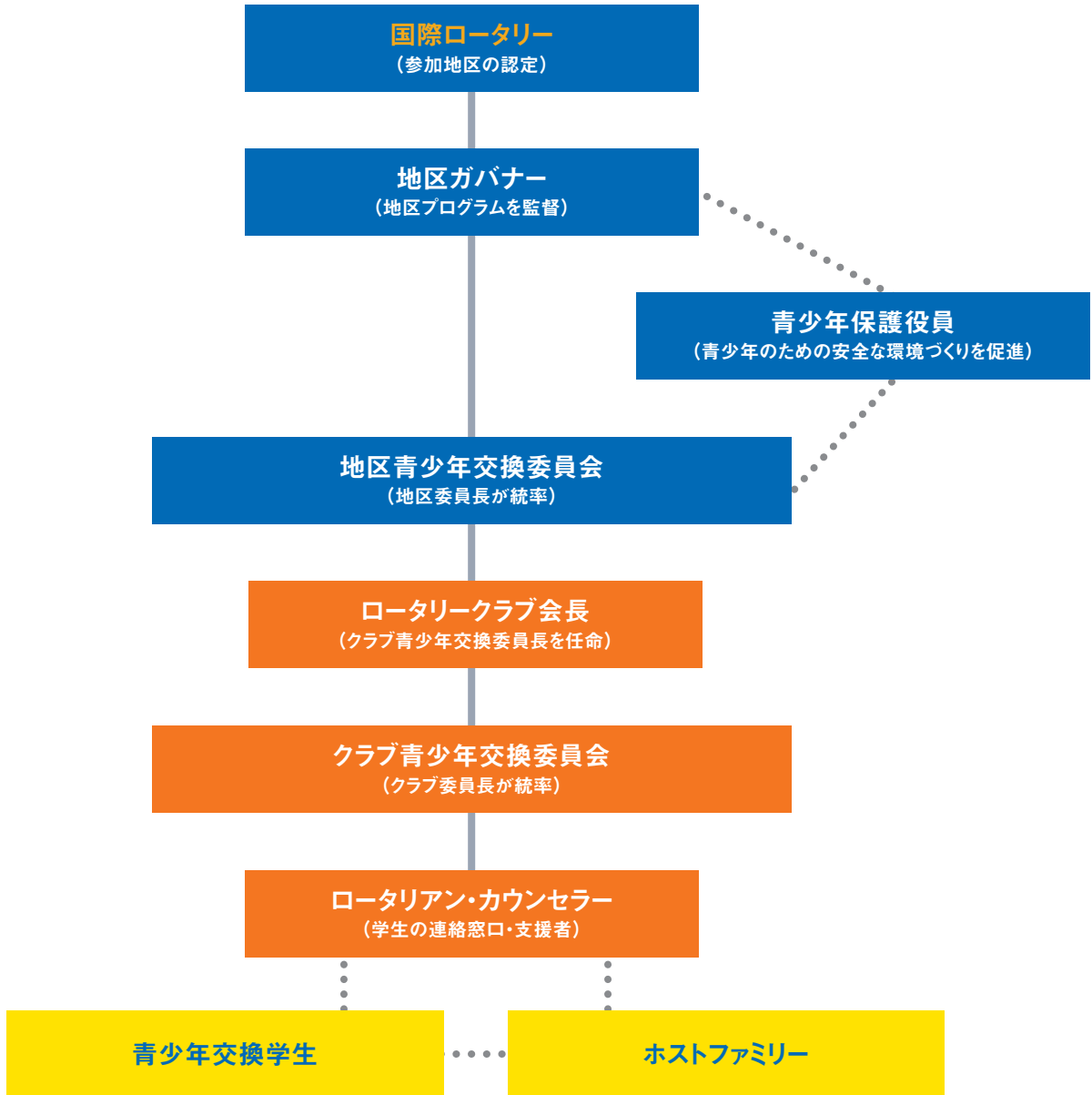
多地区合同青少年交換グループは、交換活動を支援するために設立された、複数の地区からなる管理運営団体です。管理運営面での任務が合理化され、参加地区の負担が軽減されるという声が多く、多くの地区からあがっています。多地区合同グループの運営方法はそれぞれ異なりますが、多くは学生のための研修とオリエンテーションの企画、申請書やビザの手続き、航空券や保険の団体料金の交渉、特定地域でのプログラムの推進などを行っています。既存の多地区合同グループへの参加、または新しいグループの立ち上げに興味のある方は、詳細について youthexchange@rotary.org までお問い合わせください。

カウンセラーのプロフィール

あらゆる交換プログラムにおいて、すべての派遣学生と受入学生にカウンセラーが指名されなければなりません。ロータリアン・カウンセラーは、青少年との活動を楽しみ、学生に代わって弁護し、虐待やハラスメントの申し立てを含め、交換中に起こりうる問題や懸念に対処するための研修を受けなければなりません。

カウンセラーは性自認が参加者と同性であるべきです。学生のホストファミリーの一員は、その学生のカウンセラーになる資格はありません。交換学生に関わるボランティアの親しい友人や親戚、または学校長や青少年交換委員長など、交換に対して影響力を持つ人物は、ロータリアン・カウンセラーになるべきではありません。

リーダーの組織図



4

青少年交換学生の派遣に関する指針

交換学生募集のためのプログラムの推進

学生の選考

受入地区の決定

派遣学生とその親または法的保護者の準備

親または法的保護者の協力

学生とのコミュニケーション

学生を海外に派遣するロータリアンは、参加候補者に青少年交換を紹介し、適切な候補者を選び、学生の受入地区を決め、学生と家族のためにオリエンテーションを計画します。交換期間中は、交換が有意義な体験となるよう派遣学生にガイダンスと支援を提供し、連絡を取り合いましょう。学生が帰国する際には、交換後の生活に学生と家族が適応できるよう手助けし、学友やその他の青少年プログラムの機会を通じてロータリーとのつながりを保つことを奨励するにあたり、これらのロータリアンが重要な役目を担います。

交換学生募集のためのプログラムの推進

幅広い若い世代にプログラムを紹介することで、ふさわしい候補者が見つかりやすくなります。まずは、インターアクトやロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)など、ほかのロータリー青少年プログラムの参加者や過去の参加者に申請を勧めてみましょう。これらの候補者は、既にロータリーのことを知っているだけでなく、リーダーシップスキルを有し、グローバルな意識を高めることに熱心であるなど、青少年交換を通じてロータリーと国を代表するのに理想的な特徴を兼ねそなえています。

プログラム推進のために地区の青少年交換ウェブサイトを作成して、より幅広い層にアピールしましょう。クラブや地区のSNSアカウントで青少年交換のストーリーや参加の機会を紹介しましょう。参加者が楽しみながら、留学国の生活を楽しみ、新しい出会いをしている姿をとらえた写真を投稿しましょう(必ず本人の許可を取ってください)。

また、学校、図書館、コミュニティーセンターやスポーツセンターなど、青少年が集う場所で推進用資料を配布することもできます(学校や管理運営者の許可を必ず取ってください)。青少年交換の文化的、職業的、教育的な利点と、ロータリーの青少年保護への取り組み、また、ロータリーが有する地域社会のネットワークを強調しましょう。広報、マーケティング、広告の仕事をしているクラブ会員に手伝ってもらえば、プロ並みのパンフレットやちらしが作成できるでしょう。

学生の選考

プログラムに関心があり、以下の基本的な要件を満たしているすべての学生に、申請する機会を与えるべきです。

最低資格要件

- 15～19歳。候補者の年齢については、交換の計画を確定する前に、派遣側・受入側双方の地区が同意し、また、両地区の国の法律と規則に従わなければならない。地区によっては、学生の年齢が16歳以上または18歳以下でなければ参加できない場合がある。
- 平均以上の学業成績
- 母国語における明確かつ効果的な自己表現力
- 指導力を発揮した経験

その他の検討事項

- 認定されたロータリー地区内に居住していること
- 環境の変化やホストファミリーへの適応力
- 受入国の言語に堪能であること、または受入国の言語を学ぶ意欲
- 受入国の文化的活動や習慣に積極的に参加する姿勢
- 受入国の人びとに母国の見方や文化を伝える熱意
- 平和と理解の親善大使としてロータリーを前向きな形で代表する能力
- 親または法的保護者による、完全かつ無条件の支援
- 長期交換に関しては、学校に通い、宿題をする意欲

地区補助金による資金

青少年交換プログラムの資金は、全額をロータリー地区と地元のロータリークラブが負担します。ロータリー財団地区補助金を青少年交換などの青少年プログラムの資金として活用できます。地区補助金は、個人の交換の奨学金として、または交換学生のグループの活動や行事の資金としても使用できます。地区が資金を管理するには、資格認定を受けている必要であり、地区補助金は、他のロータリー財団資金と同様、ロータリアンの直系卑属の活動に用いることはできません。グローバル補助金は青少年交換の資金として用いることはできません。詳しくは grants@rotary.org までご連絡ください。

学生選考における多様性

ロータリークラブと地区は、あらゆる背景を持つ学生を候補者として検討するよう奨励され、学生の安全や受入の手配のしやすさを犠牲にすることなく、人種、民族、性的指向、障がい、性自認による差別を避ける形でプログラムを管理運営するよう努力するべきです。こういった問題に関する文化的規範や法律は世界各地で異なるため、全関係者が受入の手配に納得するように適切な注意を払うべきです。

学生、親または法的保護者、ホストファミリー、関係クラブや地区の間でオープンなコミュニケーションをとることが大切です。このようなコミュニケーションは、受入地区が学生のニーズにかなう受入先と環境を決めるのに役立ちます。すべての関係者にとって有意義な体験となるように、適切な受入先を選ぶため、ホストファミリーについては事前にさまざまなタイプの人との適合性を審査するべきです。

身体的または精神的に不自由のある学生への配慮

ロータリークラブと地区は、身体的または精神的に不自由のある学生を参加候補として検討するよう奨励されています。障がいのある学生が参加した多くの過去の交換が成功を収めており、交換に関与したすべての人びとに恩恵をもたらしてきました。学生、親または法的保護者、ホストファミリー、関係クラブ・地区の間で、学生のニーズに関して明確にコミュニケーションをとることで、十分な準備を整え、関係者全員が安全で実りある体験をすることができます。

学生の滞在中にどの程度の世話や便宜を提供するかについて、すべての関係者が同意するべきです。受入地区は必要な世話を提供できるかどうかを判断し、そのことを派遣地区だけでなく、親または法的保護者にも連絡しなくてはなりません。

申請と面接のプロセス

1. プログラムの規定を守ることを宣誓する書面を含む申請書への記入を学生に求めます。多くのクラブと地区は、記入事項の多い完全な申請書の提出を求める前に、簡単な事前選考用紙を配って申請者の枠を絞っています。青少年交換役員が作成した、一般的に使われている申請書の見本を希望する場合は、youthexchange@rotary.orgまでご連絡ください。
2. 申請者と親または法的保護者の両方を交えた個人面接を行います。地区代表による面接に加え、少なくとも1回は派遣クラブによる面接も行わなくてはなりません。面接には以下の内容を盛り込みます。
 - 交換の目的とプログラムの期待事項
 - ロータリー青少年交換に参加する動機
 - 母国や家族、友人から離れて暮らすことに対する学生の思い
 - プログラムの規則
 - 世界のニュースや問題に対する意識
 - 自分が所属する地域社会や国、ロータリークラブを代表して親善大使となること
 - 親権や法定後見など、学生に関する特別に配慮が必要な事項

このほかに、面接の一部として学生に短い自己紹介のプレゼンテーションを行ってもらったり、青少年交換学友や学友の家族、地元の学校管理者やその他のプログラム関係者との非公式な質疑応答の時間を設けたりすることも可能です。

推進のヒント

ロータリー・ブランドリソースセンターの推進用資料をカスタマイズして独自の推進用資料を作成しましょう。短期交換、長期交換のテンプレートを選び、連絡先を記載し、地元の青少年の関心を引くような写真を使いましょう。

3. 申請書の審査と面接の実施後、以下の基準に従って学生を選考します。
 - 成熟度
 - 良識を働かせる能力
 - ロータリーのプログラムの目的との適合性
 - 身体的、精神的な健康のニーズに対して効果的に便宜を図る地区の能力
 - 派遣地区と受入地区が支援できる学生の数
 - 資格のない学生や、留学中に苦心する可能性のある学生を派遣するよりも、少ない数の学生を派遣するようにしましょう。
 - 支援できる人数を超えた有資格の候補者が申し込んだ場合、参加できなくなった学生が出た場合に備えて、補欠学生を選んでおきます。

選考結果

学生が選ばれ、地区によって承認されたら、学生とその親または法的保護者に書面で通知します。通知には、参加の確定に必要な条件（例：オリエンテーションへの参加、手数料の支払いなど）に関する情報と、受入国の決定予定日も記載します。出発までは、交換への参加は保証されておらず、すべての学生オリエンテーションへの出席とクラブ・地区の規定の順守が参加条件であることを学生に伝えましょう。

派遣地区の決定

地区青少年交換委員会が（学生の資格と予想される受入人数に基づき）派遣学生を選考した後、青少年交換ネットワークを通じて受入地区を探しましょう。

受入地区の決定

長期的な交換関係を築いている地区では、多くの場合、派遣先がスムーズに決められるだけでなく、交換中の学生に対する支援体制も充実しています。地区がほかの地区と交換関係を築いていない場合、または新たに関係を築くことを希望する場合は、国際ロータリーから提供される地区青少年交換委員長と多地区合同役員の名簿を利用して、派遣を希望する地区または国の連絡先を探すことができます。国際ロータリーは青少年交換委員長、役員、連絡先にこの名簿を四半期ごとにEメールで送付します（My ROTARYで最新の名簿を閲覧することもできます）。責任をもって、受入地区が参加の認定を受けているかどうかを確認しましょう。認定状況について質問がある場合、または名簿を閲覧する必要がある場合には、youthexchange@rotary.orgまでご連絡ください。

正式決定

学生の派遣先を決定したら、参加地区とクラブの青少年交換役員、学生、学生の親または法的保護者に、同意書に署名してもらいます。同意書には、以下の項目など、交換について地区が期待する事項を必ず記載します。

- 交換期間
- ホストファミリーの数
- 学生選考とオリエンテーション
- 緊急サービスや支援サービスを含む連絡先
- 学生が負担する費用と小遣い
- 行動の規則および懲戒処分の可能性

このプロセスを通じて連絡を取り合うことが、交換を成功させる鍵です。学生の旅程や到着日を関係者全員に伝えましょう。空港での学生の出迎えや、最初のホストファミリー宅への入居を手伝う予定については、受入地区に尋ねてください。学生が安全に到着したら確認の連絡をするよう、受入地区に求めましょう。

派遣学生とその親または法的保護者の準備

オリエンテーションプログラムの内容はクラブや地区によって異なりますが、主に以下のような内容を取り上げるべきです。地区が多地区合同グループに属している場合、より大規模なオリエンテーションプログラムに参加できるという利点があります。

学生の準備を整えてもらうために、出発前の年度に、週末の説明会や短いミーティングなどを継続的に行いましょう。留学国に関する資料を学生に渡し、自分でもさらに調べてみるよう奨励します。余裕をもって少しずつ学生に情報を与えていくことによって、学生は多くの情報を吸収することができます。

また、オリエンテーションでは、提供した情報に対する学生の反応や、ほかの学生・ロータリアンとの関わり方を観察することで、学生が青少年交換への準備ができているどうかを確認できます。

青少年交換の学友にもオリエンテーションに参加してもらえば、同世代から貴重な意見やアドバイスを得ることができます。交換学生が学友と話す時間を十分に設けましょう。可能であれば、現在外国から留学中の学生にもオリエンテーションに出席してもらいます。

派遣交換学生のためのオリエンテーションの内容

学生の準備を整えるため、派遣交換学生のためのオリエンテーションでは以下の内容を取り上げましょう。

プログラムの基本情報

- ロータリーの使命と価値観
- 交換学生であるとはどういうことか（現在受入中の交換学生または元交換学生による短いプレゼンテーション）
- 財務事項、予算に入れられた手当と費用
- 受入クラブとロータリアン・カウンセラーの役割

期待事項

- 地区とクラブの規則
- 参加者とリーダーの役割と責務
- 旅行に関する制限
- 国とロータリーを代表する親善大使であること
- クラブ例会での母国についてのプレゼンテーションに関するアドバイス
- 母国の家族と友人との連絡
- 交換を成功させるためのヒント

重要事項

地区が青少年交換の認定を保持し、プログラムに参加するためには、オリエンテーションではすべての学生とその親または法的保護者が虐待とハラスメントに関する認識向上と防止の研修を受けなくてはなりません。

安全面

- 虐待とハラスメント防止・認識向上の研修および報告（必須）
- 少数派（マイノリティ）についての受入国の法律と世間の見方
- 所属クラブのロータリアン・カウンセラーの役割
- 24時間連絡できる地区の電話番号と、派遣地区委員長、地区ガバナー、クラブ会長、ロータリアン・カウンセラー、ロータリアン以外の支援者2名（男性1名、女性1名）の連絡先

旅行に関する情報

- パスポートやビザに関する情報
- 旅費と責任
- 学生旅行保険と健康管理に関する話し合い
- 荷物や荷造りなどについてのアドバイス

文化についての心構え

- 異文化に対する心構えと受入国についての研究
- 適応能力と異文化への寛容性
- 文化的な期待事項や想定事項
- 語学研修
- ホストファミリーとの生活と礼節
- 贈り物に関する慣習
- ホームシックと効果的な対処法

親／法的保護者向けオリエンテーションのその他の情報

- 交換学生の親または法的保護者が直面する課題
- 金銭的な義務
- 旅行の手配
- 所属クラブのロータリアン・カウンセラーの連絡先と役割
- 交換期間中に学生と連絡を取る際のベストプラクティス
- 留学中の学生の訪問
- 逆カルチャーショックなど、学生の帰国後に起こり得ること

親または法的保護者の協力

親または法的保護者は、交換前、交換中、交換後にプログラムを支援することで、学生の体験を有意義なものにし、プログラムの目標を支えることができます。

交換前

選考とオリエンテーションに派遣学生の親または法的保護者も参加してもらうことが重要です。そうすることで、自分や子どもに何が求められているかが分かります。

期待事項と規則

プログラムの規則について、それが学生にとってなぜ大切なのかを説明しましょう。書面による合意書は、親または法的保護者と学生の両方に対して必須となります。同意書には、訪問と連絡の制限など保護者に適用される規則、および学生に適用される規則を含めます。規則の目的を理解し、順守を誓うことで、親または法的保護者は子どもも規則を順守できるよう支えることができます。

費用面での義務

親または法的保護者が負担する費用は地区により異なり、奨学金が提供されるかどうかによっても異なります。親または法的保護者の費用面での義務を具体的かつ明確に説明し、両当事者が同意しなければなりません。親または法的保護者が旅費を全額負担するケースが多く、これにはパスポート、ビザ、旅行保険の費用が含まれます。親または法的保護者は、交換中の娯楽、軽食、土産にかかる雑費も負担します。緊急用の資金（使わなかった場合は交換後に全額または一部返金）を事前に支払うことを求める地区もあります。

学生旅行保険

親または法的保護者と学生は、すべての医療費、事故費用を支払う責任を負い、ロータリー章典に規定されるロータリーの最低限の補償範囲に沿った、事故によるけがと疾病に対する医療、歯科治療、死亡の場合（遺体の本国送還を含む）、身体障がい／四肢切断の場合（現金給付とも呼ばれる）、緊急医療移送、緊急訪問費用、24時間緊急援助サービス、法的賠償責任（青少年交換プログラムに関連した、学生のいかなる行為または不作為も補償する）に適用される旅行保険に加入する責任を負います。学生の保護者の裁量で、取消料、所有物遺失、現金遺失、誘拐および身代金のための保険に加入することもできます。

旅行の安全面

あらゆる学生とその家族が、海外旅行にまつわるリスクを理解しておくことが大切です。政府が発行する危険情報や渡航中止勧告は深刻に受け止めましょう。学生とその保護者は、受入国について日本政府による旅行勧告を出発前に確認してください。日本政府が受入国を高リスクの国として指定している場合、保護者は受入地区・派遣地区と協力して、状況をしっかりと把握しましょう。地元のロータリアンから最新情報が得られるかもしれません。最終的に、リスクを調べて交換に合意する責任は保護者にあります。安全面についての懸念が解消されない場合、学生の親または法的保護者は子どもを青少年交換に参加させないべきです。

必要な場合に受入地区は直ちに緊急医療を提供する必要があるため、補償範囲は、受入地区が十分と認めるものでなくてはならず、学生が母国を出発する時点から帰国する時点まで有効なものでなくてはなりません。受入国で旅行保険への加入が法律で求められている場合、この保険はRIの最低限の補償範囲を満たしていません。その他すべての場合において、全関係者の同意がないかぎり、保険の二重加入は避けるべきです。

交換中

交換中の学生の旅行

交換の一環として、多くの受入地区・クラブが、学生に旅行の機会を提供しています。受入クラブ、地区、または多地区合同グループが手配するオリエンテーションキャンプ、地区大会、その他の行事などの旅行は通例のこととみなされ、親または法的保護者の許可を必要としません。ホストファミリーとの旅行や（受入地区の定義による）地元地域外の旅行など、その他すべての旅行に関しては、受入地区が親または法的保護者から書面による許可を取得し、そのプログラムの詳細、行事の場所、旅程、宿泊先、連絡先を伝えなくてはなりません。

旅行の安全面（続き）

家族は、地元の大統領を通じて渡航者通知プログラムを利用しましょう。自然災害、政情不安、テロ行為などの大規模な緊急事態が生じた場合、受入地区は派遣地区、親または保護者、RIと連絡を取り続けてください。親または保護者は、受入地区・派遣地区とともに、リスクを調べて学生が受入国にとどまるか帰国するかをいづれかに同意します。三者のいずれかが交換の続行に不安を感じる場合、安全に行える最も早い段階で早期帰国を手配する必要があります。

学生と親または法的保護者間の連絡

交換中は、親または法的保護者と学生の間で、定期的に適度な連絡を取るよう勧めましょう。過度に連絡を取ると、学生が海外の生活に溶け込む力に悪影響を与える可能性があることを保護者に理解してもらいましょう。新しい環境に順応し、カルチャーショックを乗り越え、新しい生活になじむ時間を与えることが大切です。

保護者による訪問

交換中に学生を訪問するのは控えるよう親または法的保護者に伝えます。訪問によってホームシックにかかったり、悪化したりすることがあり、また新しい文化への順応が後戻りすることがあります。受入地区とクラブの両方の承認を得なければ訪問できないという点を強調してください。親または法的保護者が訪問を計画している場合、交換の最後の2カ月間に訪問することを勧めましょう。祭日は学生にとって貴重な文化的体験となりえるものであり、ホストファミリーが学生を交えて特別な行事を行う機会でもあるので、祭日中に学生を訪問することは避けるべきです。

予定された学生の帰国と交換終了後

逆カルチャーショック

帰国すると母国になじめず違和感を覚えるといった「逆カルチャーショック」は、交換体験の重要な一部でもあります。親や法的保護者がこのことを理解し、この過渡期に対処する心構えをしておくことが大切です。交換中に親や法的保護者の生活は基本的には変わらなくても、学生は大きな変化を体験しているのです。交換期間全体を通じて定期的に連絡を取り合うことで、学生の新しい体験をより良く理解し、帰国後に母国に再びなじむのを助けることができます。

親や法的保護者が最もよく直面する問題のひとつとして、学生の心に新たに芽生えた独立心への対応があります。学生が交換前まで長い間従ってきた決まりごとに対して、交換後に束縛感がなくなることがあります。こういった変化に備えることで、家族が前向きに対応することができます。

交換後の生活

派遣地区とクラブのロータリアンは、帰国した学生やその家族と連絡を取り続けることで、学生が交換後の生活になじめるよう手助けできます。学生とその親または法的保護者をロータリーの活動、プログラム、行事に招くとよいでしょう。帰国した学生とその親または法的保護者を対象に報告会議を開き、プログラムを改善するための意見やアイデアを提案してもらいましょう。また、ほかの帰国学生がメンバーとなっている学友会を紹介しましょう。学友会については第6章で詳しく説明しています。

学生とのコミュニケーション

クラブと地区は、交換中に派遣学生と定期的に連絡を取るべきです。学生とともに報告手順を決め、母国のクラブのロータリアン・カウンセラーまたは（指定された）ロータリアンに、少なくとも四半期ごとにEメールで最新状況を伝えるよう学生に求めてください。定期的に連絡を取ることで、地区が学生の生活状況を知ることができ、学生が直面する可能性のある課題を把握できます。また、地区の緊急連絡先を学生全員に必ず伝えてください。

ホストファミリー

受入学生のホストファミリーとなることで家族が有意義な体験ができることもあります。異文化への意識が高まるだけでなく、自分の子どもが海外で経験するかもしれない課題や機会をより良く理解できます。ただし、ホストファミリーとなるかどうかは家族の決定によるもので、その家庭の子どもが交換プログラムに参加するための条件ではありません。

5

青少年交換学生の受け入れに関する指針

受入クラブ

ホストファミリー

ロータリアン・カウンセラーの 選考

学生との到着前の コミュニケーション

受入交換学生のための オリエンテーション

交換中の支援

早期帰国への対処

予定された帰国と交換終了

ロータリアンや地元市民は、青少年交換学生の受け入れを通じて、地元にいながら異文化を体験する機会に恵まれます。地元の学生や市民も交換の成功に貢献できます。交換に関わるすべての人にもたらされる恩恵は計り知れませんが、学生の受け入れには受入クラブと地区ロータリアンの膨大な時間が必要とされます。

交換中の体験をできるだけ有意義なものとするため、受入クラブと地区は以下のような責任を担います。

- ホストファミリーの審査と選考
- ロータリアン・カウンセラーの指名
- 受入学生向けオリエンテーションの計画
- 効果的な支援体制の構築

受入クラブ

地区青少年交換委員会は、ガバナーおよびガバナー補佐と協力して、交換プログラムに関心があり受入学生を支援することのできるクラブを探します。地区委員会の委員は、学生の受け入れを決めた場合にクラブが実際に費やさなければならない時間と経済的負担を推定して、クラブに伝えるべきです。受入クラブの責務については第3章で詳しく説明しています。

ホストファミリー

ホストファミリーの募集

長期交換学生は、2世帯以上でホームステイをすることが義務づけられています（可能であれば、3世帯でホームステイをすることが望ましいとされています）。数世帯の家庭で生活することで、学生はその国でさまざまな体験ができ、文化全体をより良く理解できます。学生の到着前に3世帯すべてを確保できないかもしれませんが、予備のホストファミリーを必ず事前に見つけておくようにしてください。

ホストファミリーは、責任感が強く、海外の若者を受け入れることに関心と意欲のある家庭であるべきです。ロータリアンの家庭である必要はありません。青少年交換に関与したことがきっかけで地域社会の人がロータリーへの入会に関心を持つこともあります。ホストファミリーを見つけるには、学生募集の際に広報用に使ったのと同様の方法を用いることができます。学生のプライバシーを保護するために、学生に関して個人が特定できる情報は広報で使用しないでください（法律で禁じられている場合もあります）。

ホストファミリー候補を探す際のアドバイス

- ロータリアンにホストファミリーとなることを奨励する。現在受入中の学生をクラブ例会に招き、ホームステイでの体験談を会員に聞いてもらう。
- 青少年交換学生の受け入れに関心がありそうで、ホストファミリーの資格があると思われるロータリアン以外の家庭をロータリアンに推薦してもらう。
- これまでに学生の受け入れを成功させたことのある家庭に、学生に受け入れに関心をもっているほかの家庭を推薦してもらう。
- 青少年交換の学友の家族にホストファミリーとなってもらう。これらの家庭は、自分の子どもの体験を知っているため、プログラムの参加に関心を持っていることが多い。
- ホストファミリーにふさわしいと思われる家庭を知っているかどうか、青少年交換の学友に尋ねる。
- 保護者や地元団体を対象に、青少年交換プログラムについてプレゼンテーションを行う。学生受け入れの恩恵を強調し、関心を示したすべての人に後でまた働きかける。
- 青少年交換の学友と連絡を絶やさない。学友は、最適なホストファミリーとなる可能性だけでなく、将来にロータリアンとなる可能性がある。

ホストファミリーの選考

プログラムに関する情報を共有し、受け入れに関心を示した家族に地区のホストファミリー申請書を配布します。申請書を審査しホストファミリーとの面接を行う際には、責任感が強く、意欲のある家庭を探します。幼い子どものいる家庭、交換学生とほぼ同年齢の子どものいる家庭、子どもがいない家庭など、さまざまな構成から成る家庭を選択肢として特定します。親が一人の家庭や同性カップルの家庭、退職者の家庭などもホストファミリーに適しています。

部屋と食事を提供することにしか関心のない家庭は避け、地域社会のさまざまな活動に学生を参加させることにより、充実した交換体験となるよう積極的に努めていく意欲のある家庭を探しましょう。

効果的なホストファミリー

以下のような家族がホストファミリーに最も適しています。

- 思いやりがあり、互いに尊重しあっている
- 柔軟性があり、新しい家族を迎えることに対する適応性がある
- ユーモアがあり、問題や困難な状況を客観的に捉えることができる
- 忍耐力があり、よく起こりがちな誤解を克服していく意欲がある
- さまざまな活動や家庭以外の場所に興味を抱いている
- さまざまな会話の話題、文化、娯楽に関心がある

ホストファミリーの審査

学生を保護し、有意義な交換体験を推進するには、ホストファミリー候補を十分に審査することが重要です。プログラムの規則と期待事項を明確に提示し、ホストファミリー候補が学生受け入れる理由を評価しましょう。すべてのホストファミリーが地区の申請書に記入・署名し、交換の規則を順守し、経歴照会や警察の犯罪歴記録の照会を行う権限を地区に与えなくてはなりません。警察の犯罪歴記録の照会や身元調査を含む犯罪歴調査は、ホストファミリーの成人家族全員に対して行う必要があります。

ホストファミリーの家庭訪問

ホストファミリーを選考する前に、地区またはクラブのリーダーが、ホストファミリー候補宅を訪問しなければなりません。訪問は、その家に住む家族全員が在宅中に行ってください。訪問の際、ホストファミリーの責務について確認し、学生の受け入れについてクラブまたは地区のその他の資料を渡します。オリエンテーションと研修への出席が必須であることを伝え、交換学生がロータリー活動に参加するのを手伝う意思があることを確認してください。交換前と交換中、予定された家庭訪問および抜き打ち（または直前に予告した）家庭訪問を行います。

ホストファミリーの審査と家庭訪問で尋ねる質問：

- なぜ交換学生の受け入れに関心があるのか。
- 異文化に対して、家族はどのような経験を持っているか。これには、海外旅行、職業上の経験、外国語の知識、その他の経験が含まれる。
- 学生の寝室をどのように決める予定か（学生自身のベッドが必要。部屋を共有する必要がある場合、部屋を共有する子どもの性自認は同性でなければならず、できれば同じ年代の子どもとする）。
- 学生が健全に過ごせるよう、適切に監督し保護者としての責務を果たすことができるか。
- 交換学生を家族の日常生活にどのようになじませていくか。
- 家事を学生に担当させるか。そうであれば、それはどのような家事か。
- 海外から来た若者に地域社会と受入国についてよく知ってもらうために、どのような活動を家族で行うか。
- 学校への通学やそのほかの課外活動へ行くために、学生はどのような交通手段を使うことになるか。
- 言語やコミュニケーションの問題、規律、感情的な問題、カルチャーショックなど、学生との間で問題が起きたとき、ホストファミリーとしてどのように対処するか。

さらに、以下の点を観察してください：

- 家は全般的にどのような状態か。清潔で、十分な暖房・照明やそのほかの必需品がそろっているか。
- 適切な部屋や時間など、学生を受け入れるのに必要な条件はそろっているか。
- 学生はこの家庭において身体面、精神面で安全でいられる可能性が高いか。

ホストファミリーの決定

ホストファミリーがすべての審査を終え、研修要件を満たした後、交換学生との組み合わせを行います。ホストファミリーは、プログラム運営と規則、虐待・ハラスメントの意識向上と防止についての情報を取り上げた研修を受けなければなりません。学生とホストファミリーを適切に組み合わせるために、以下を考慮してください。

- 似通った興味（娯楽、趣味、スポーツ、文化活動）
- ホストファミリーの子どもの年齢
- 全関係者の性格と価値観

学生が受入国に到着した直後に最初のホストファミリー宅に学生が滞在できるよう手配し、仮のホストファミリー宅に滞在させることは避けましょう。これにより、学生が新しい家庭にスムーズに溶け込むことができます。

ホストファミリーは、プログラムに欠かせない存在です。このため、受入クラブのロータリアンは、ホストファミリーと好ましい関係を維持するよう努めるべきです。クラブの行事にホストファミリーを招待したり、直接会ったり、感謝状を送ったりして、感謝の意を表しましょう。情報交換や体験談を話し合うホストファミリーのネットワークグループをつくることを提案してもよいでしょう。交換後、ホストファミリーに評価アンケートに記入してもらうのも一案です。ホストファミリーとオープンで有意義な関係を培うことによって、将来に再び学生を受け入れてくれる可能性、さらにはロータリークラブに入会する可能性も高まります。

問題が発生したために別のホストファミリー宅に学生を移動させなければならない場合もあります。このため、緊急時に、または原則として一時的に学生を受け入れてくれる審査済みのホストファミリーを少なくとも1世帯は確保しておくべきです。問題を解決する力や危機が生じた場合に学生と協力することのできる、経験豊かなホストファミリーを選ぶようにしましょう。

ロータリアン・カウンセラーの人選

ロータリアン・カウンセラーは、交換の成功にとって非常に重要な役割を果たします。交換学生にカウンセラーを指名する際には以下を検討してください。

- 性別：可能であれば、学生と同性（または性自認が同性）のカウンセラーを指名する。カウンセラーの性自認が異性の場合、もう1人別に性自認が同性の支援者（ロータリアンまたはロータリアン以外の人）を指名する。
- 時間の拘束：1人のカウンセラーが効果的に何名の学生を監督できるかを判断する。

ロータリアン・カウンセラーのプロフィールと責務については第3章で詳しく説明しています。

学生との到着前のコミュニケーション

受入学生のカウンセラーとホストファミリーが決まったら、以下のような歓迎の通知とオリエンテーション資料を送付します。

- 地区会合、特別行事、旅行、そのほかの活動を含む年間予定表
- 最初のホストファミリーの名前と連絡先
- ロータリアン・カウンセラーの名前と連絡先
- 受入国や受入地域の一般的な情報（地理、歴史、政治など）と文化（口語表現、特定の身振りの意味、習慣的に行われている挨拶、祝祭日の伝統、社会的慣習、信仰や習慣など）
- 気候、服装、学校についての役立つ情報
- 地区の規則、学生旅行保険加入の義務、学生にかかる費用と小遣い、緊急用資金の額
- クラブでのスピーチに関する期待事項

さらに、受入クラブと地区は学生のビザ取得を手伝い、空港での出迎えを手配し、地元の学校への入学手続きや学費支払いの手続きを行います。学生が到着する前に、重要な支援者である最初のホストファミリーならびにロータリアン・カウンセラーと学生が連絡を取り合い、関係を築いておくよう奨励します。これによって、学生が到着後、環境の変化に順調になじむことができます。

受入交換学生のためのオリエンテーション

学生が到着したら、学生全員に会い、最初のホストファミリーを紹介します。学生の到着後すぐに、正式なオリエンテーションを開きます。オリエンテーションは、1地区、または多地区合同などのグループで、あるいは個行的に行うことができます。オリエンテーションにはロータリアン・カウンセラーが出席するべきですが、できるだけ多くのクラブ会員が出席するのが望ましいでしょう。受入学生のためのオリエンテーションでは、以下の内容を取り上げます。

プログラムに関する情報

- 受入クラブ、地区、または複数の地区が合同で定めた学生の規則
- プログラムの規則に違反した場合の措置や早期帰国の方針
- 必要とされる書類や許可など、学生が旅行する際の方針
- 毎月の小遣い
- 受入側の地区委員長、地区ガバナー、クラブ会長、ロータリアン・カウンセラーの連絡先

期待事項

- ロータリーの親善使節としての学生の役割
- ロータリークラブ例会と地元のロータリー行事への参加
- 母国との連絡（家族、友人、派遣地区）
- 授業出席と課外活動への参加
- コンピューター、携帯電話、インターネット、ソーシャルメディア、Eメールの使用

文化

- 地元の慣習や口語表現
- 身振り、個人の空間に対する意識、コミュニケーションの違い
- 個人的な心得と人間関係の心得
- 学校の文化と期待事項

保健と安全

- 虐待とハラスメントの認識と防止、申し立ての報告方法
- 24時間対応の地区の緊急連絡先とロータリアン以外の支援提供者2名（男性、女性各1名）の連絡先
- 地元の医療、歯科、精神保健の専門家の連絡先
- サービスが提供されている場合は、自殺防止ホットライン、性犯罪緊急用ホットライン、児童保護、法執行当局等を含む地元の社会奉仕団体の情報
- 青少年に適用される地元の法律や慣習についての情報

交換中の支援

交換期間中、ロータリアン・カウンセラーと受入クラブの会員は、学生と定期的に連絡を取り、学生の毎月の小遣いや緊急用資金など資金面での必要な手配を行い、次のホストファミリー宅への移動を助けます。

ロータリアン・カウンセラーは、ホストファミリーまたは学校に関する質問や懸念について、いつでも学生と話し合えるようにします。このような問題については、ホストファミリー抜きで話し合える場所を選ぶようにします。学生からの電話に応じるだけでなく、ロータリアン・カウンセラーは、少なくとも1カ月に1度、学生に電話をするか直接会って積極的にコミュニケーションを図るようにしてください。

カウンセラー、または別の適格なロータリアンが、ホストファミリー宅にいる学生を訪問し、生活環境が、事前審査で同意した環境と同じかどうかを確かめます。

文化的な行事や社交行事に学生を招待します。音楽のレッスンでも、博物館の見学でも、ただ一緒にお茶を飲むだけでも、早いうちに時間をつくって学生との信頼関係を築くことで、学生が抱える問題を早期に見つけて対処できるようになります。文化の違いによる問題を学生が克服できるよう、必要に応じて学生が新しい生活環境になじむための支援をしてください。地域社会や学校と協力し、学生がさまざまな活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにします。

学生と不法行為

学生が犯罪を目撃した、または犯罪の被害者となった場合、早期に帰国するか受入国に残るかは、学生とその親または保護者が決定します。この選択は、特に性的虐待またはハラスメントの被害者にとって特に重要となります。これは、被害者が報告したために罰として早期帰国をさせられたと考える可能性があるためです。学生が早期帰国することを選んだ場合、帰国の手配をする前に、学生が証言者として受入国に残る必要のないことを地元の警察当局に確認します。学生が犯罪で告発されている場合、地元の警察当局が、学生が受入国を出国できるか、またはいつ出国できるかを決定します。

新しいホストファミリーへの移行

受入クラブとロータリアン・カウンセラーは、学生が次のホストファミリー宅へ移動するのを助けます。移動をできる限り円滑に行うために、以下を行いましょう。

- 移動日を含め、学生に事前に知らせる。可能であれば、移動前に学生が次のホストファミリーと会い、ホストファミリー宅を訪問できるよう手配する。
- 移動前に、学生とその親または法的保護者に新しいホストファミリーの連絡先を伝える。
- 学生が所持品すべてを新しいホストファミリー宅に運び、ホストファミリーと知り合うのを手伝う。

早期帰国への対処

さまざまな理由から、学生が早期に帰国することがあります。このため、すべての参加地区は早期帰国の可能性に備えておく必要があります。一部の学生はホームシック、病気、母国の家庭問題といった理由で早期帰国します。また、交換中に受入国で起きた問題が理由で帰国させられる学生もいます。地区青少年交換プログラムの規則への違反、または交換中に生じる地理的・政治的な危機、あるいは健康面や安全面での問題が理由で帰国させられることもあります。

地区が定めるプログラムの規則や、早期帰国を含む懲戒処分について説明しておくことで、学生が規則に違反した場合の対応について全関係者の合意が得られ、意見の衝突や不明瞭さが生じるのを避けることができます。どのような規則違反でも、ただちに早期帰国となるわけではありません。交換同意書があれば、全関係者の間で同じ理解を築いておくのに役立ちます。規則の適用は慎重かつ一貫して行い、不公平だとみなされないようにしましょう。

早期帰国は、派遣クラブと地区、ならびに学生の親または法的保護者に十分に知らせた上で、慎重に扱わなければならない問題です。早期帰国を決定する権限は受入地区にあります。早期帰国の理由が何であれ、受入地区と派遣地区が詳細な帰国手配に同意するまで、また学生の親または法的保護者が通知を受けるまでは、学生を帰国させないでください。早期帰国について派遣地区と受入地区の見解が一致しない場合、地区ガバナーに通知し、地区ガバナーが仲裁にかかわるべきです。

受入学生を早期帰国させなければならない場合、受入地区は以下の手順に従います。

1. 学生およびロータリアン・カウンセラーと状況について話し合う。
2. 派遣地区の担当者に連絡を取り、学生が早期帰国する理由を説明する。Eメールで連絡を取り合っている場合、関連する多地区合同グループもCCに入れる。
3. 学生から親または法的保護者に連絡を取ってもらい、派遣地区と協力して親または法的保護者との連絡を取りやすくする。
4. 派遣地区の担当者ならびに学生の親または法的保護者と連絡を取り合い、帰国の旅程を適切に立てる。
5. 学生が出国の手配をするのを助け、ホストファミリーと学校の友人に別れを告げられるよう計らう。
6. 学生の安全や健康に関して懸念がある場合、学生が帰国するのが安全かどうか地元の警察または医療従事者に相談する。必要であれば、学生の帰国のために医療付添人などの手配も行う。
7. 在留資格や学生旅行保険の変更について政府の関連機関と保険会社に通知する。
8. 地区ガバナーとロータリー青少年交換担当職員に、学生が早期帰国したことを72時間以内に書面で伝える。通知には、学生の氏名、派遣地区、帰国日、早期帰国の理由を記載する。
9. 学生が安全に母国に到着したことを確認し、派遣地区と協力して必要であれば支援を提供する。
10. クラスメイト、ほかの交換学生、受入クラブの会員に早期帰国の事情を伝えるときには、学生のプライバシーを尊重するために十分に配慮すること。

予定された帰国と交換終了

交換終了前の最後の数週間に、帰国や、ホストファミリーと受入国でつくった友人との別れに対して複雑な感情に悩む学生が少なくありません。受入クラブと地区は、この期間ができる限り順調に進むよう、学生を支えてあげることが大切です。

- ホストファミリーに配慮する：学期末の活動や社交行事で学生が忙しくなるにつれ、自分たちがなおざりにされていると感じ始めるホストファミリーもいるかもしれません。学生の帰国に際し起こりうる葛藤に対し、ホストファミリーが心構えできるよう援助します。
- 交換を締めくくる活動を計画する：学生が交換期間中に会った人びとに別れを告げる機会をつくります。学生が帰国する前に、受入国内を旅行する機会を設けている地区もあります。オプションツアーに関連した費用や手配については、学生とその親または法的保護者に必ず事前に知らせ、青少年交換学生による旅行についてのRI方針に従って学生旅行保険の加入と旅行の手配を行うようにしてください。
- 帰国の最終準備を整える：学生の親または法的保護者および派遣地区と協力し、帰国の最終手配を行います。学生の荷造り、荷物の発送、出国手続きを手伝います。
- 派遣学生のためのオリエンテーションに学生を招待する：地区から派遣された学生が翌年度にそなえる助けとして、この1年を振り返り、再入国の手続きや逆カルチャーショックに対する心構えをするための特別なオリエンテーションを行いましょう。
- 評価を行う：学生、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラー、そのほかの関係者を含むプログラム参加者全員にアンケート調査に答えてもらい、今後の交換を改善していくために意見や情報を集めます。

6

学友との絆を保つ

ロータリーの体験は、学生が帰国した時点で終わるわけではありません。帰国した学生は、ロータリーで「学友」と呼ばれ、その後もずっとロータリーファミリーの一員であり続けます。青少年交換学友が帰国したら、派遣地区のロータリアンが帰国を祝い、学生が学友としてその後もロータリーのプログラムや奉仕活動に参加していけるよう手を貸しましょう。

帰国を祝う

- 青少年交換の学友は留学を終えて帰国すると、興奮冷めやらず、海外での体験について話したがるものなので、クラブ例会に学友を招き、留学経験について語ってもらう。そうすることで、クラブの会員も青少年交換に関わる意欲がわくだけでなく、地区内の学友の交流にもつながる。
- 帰国した全青少年交換学生のための帰国祝賀会を開く。他の青少年交換学友やロータリープログラムの学友なども招待することで、似たような体験をした仲間と知り合い、ネットワークを広げるのに役立つ。

学友のメンターとなる

- 学友は、帰国後のロータリーとのかかわりや参加方法を教えてくれる人を必要としている。帰国した学生とその後会うようにして、今後の希望と抱負を尋ね、ロータリーとどのようにかかわっていけるかを見つけ出す。
- 地元のインターアクトクラブやローターアクトクラブを見つけるか、新しく立ち上げるのを手伝い、学友がロータリーの活動を続けられるようにする。
- 帰国した学生が再び海外に行く予定がある場合、現地のロータリー地区のロータリアンを紹介する。ロータリーのネットワークを活用して、新しい土地になじめるよう支援する。

学友会を支援する

- 同じような経験を持つ仲間と交流できる地元のRotexやロータリー学友会を紹介するか、新しく立ち上げるのを手伝う。

ほかの地区リーダーと連携する

- 地区には、青少年交換だけでなく、ほかのロータリープログラムの学友と協力した経験のあるロータリアンが多くいる。学友の参加を促すベストプラクティスを教えてもらう。
- 地区学友委員長に、さまざまな年齢層を対象とした各種ロータリープログラムの学友を紹介してもらう。
- 地区やクラブのローターアクト委員長やインターアクト委員長に、今後もロータリーの活動にかかわっていく方法として、ローターアクトクラブやインターアクトクラブへの参加方法を教えてもらう。
- 奨学金委員長や補助金委員長に、将来的にロータリーが学業をどのように支援できるか、地元や海外での奉仕活動への参加をどう支援できるかを教えてもらう。

国際ロータリーの学友関連担当部が学友のための機会やリソースを地区や学友に紹介できます。詳しくは、alumni@rotary.orgにご連絡ください。

Rotex学友会

ロータリー学友会はプログラムの元参加者からなるグループで、地区または地域ごとのものであることが多く、学友が個人として、また社会人として交流し、ロータリーとの関係を保つ機会を提供します。青少年交換の元参加者の学友会は「Rotex」と呼ばれます。Rotexグループは、現役の交換学生の助言者となる重要な役割を担います。また、地区で受け入れている交換学生のために観光を企画したり、派遣学生と受入学生のオリエンテーションの進行役を務めたりもします。Rotexグループはしばしばロータリーの奉仕活動に参加したり、独自の奉仕活動を実施したりしています。

7

青少年交換のリソース

オンラインツール

コミュニケーションと出版物

ネットワーキングと地域の リソース

オンラインツール

青少年プログラム参加者の保護：青少年保護に関するロータリーの主な方針を概説する、青少年プログラムのクラブレベルのリーダーを対象としたオンラインコース。ラーニングセンターから受講できます。

ブランドリソースセンター：クラブと地区の青少年交換プログラム推進のためのプログラムロゴ、カード、ポスターを提供。さらに青少年交換バナーなどもブランドリソースセンターで入手できます。

オンラインショップ：短期交換と長期交換の推進のために、青少年交換カードをダウンロード、または購入。

コミュニケーションと出版物

ロータリー青少年保護の手引き：ロータリーの青少年プログラム参加者のために安全、安心な環境をロータリアンが提供できるように作成された手引き。青少年保護の手引きとボランティア同意書の見本が記載されています。

青少年交換公式名簿：現職の地区・多地区合同グループの青少年交換委員長、ガバナー、ガバナーエレクトのための、現職の地区青少年交換委員長や多地区合同グループ役員の連絡先が記載されたグローバルな名簿。My ROTARYで閲覧できます。または、youthexchange@rotary.orgにご連絡ください。

認定を受けていない地区のリスト (英語のみ)：ロータリー青少年交換には認定された地区でなければ参加できません。新しい交換を始める前に、候補の地区が認定を受けているかどうかをこちらのリストでご確認ください。

Rotary Youth Exchange ニュースレター：青少年交換の行事やリソースについての最新情報が記載された隔月のニュースレター。

青少年交換学生参加認定証：青少年交換の終了時に、交換学生に贈呈する証書。カスタマイズ可能。地区青少年交換委員長の署名が必要です。

ロータリー青少年交換ワークグループ：現職の地区・多地区合同グループ青少年交換委員長、ガバナー、ガバナーエレクトのオンラインのワークグループ。青少年交換役員名簿、事件・早期帰国報告書、リソースの手引き、グローバルコミュニケーションなどの青少年交換のリソースを含む。My ROTARYで利用できます。

ネットワーキングと地域のリソース

国際ロータリーによるリソースではありませんが、ロータリーはこれらのリソースを青少年交換に参加する地区に推奨しています。

YEOTalk：青少年交換役員が作成し管理運営するメッセージグループ。グーグルグループとフェイスブックで利用できます。

ロータリー青少年交換役員のリソース：ロータリー青少年交換役員の地域グループが作成した役に立つ文書。

地域青少年交換グループ：地域青少年交換グループは、地域内や地元で協力して青少年交換プログラムの支援を行うロータリークラブ、地区、多地区合同グループからなるグループです。大会の開催、アイデアやベストプラクティス、リソースの共有などを行っています。

- North American Youth Exchange Network (北米青少年交換ネットワーク) (NAYEN)
- Europe, Eastern Mediterranean, and Africa (欧州、東地中海、アフリカ) (EEMA)
- Rotary Youth Exchange Australia (ロータリー青少年交換オーストラリア) (RYEA)
- Associação Brasileira de Intercâmbio de Jovens (ブラジル青少年交換協会) (ABIJ)



Rotary

ロータリー青少年交換

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Rotary.org

746-JA—(1218)